令和６年度　東温市地域自立支援協議会 専門部会説明資料

子ども部会

障がい又は発達に心配のある児童及び家族に対する支援等に関することについて協議する部会

＜令和６年度活動方針＞

・保護者に対して悩みなどを話す場の提供をする。
・保護者へ研修を行うことにより、情報発信の場を確保する。
・障がい児や家族が抱える地域の課題をあげ、問題提起して部会にて事例検討会で話し合い解決に向けて共に考えていく。

小部会（保護者部会）

※特別支援学校や特別支援学級に通う子どもの保護者および発達に不安な子どもをもつ保護者が対象

○第１回　令和６年５月１４日（火）１３：３０～１５：００
講演会「不登校・ひきこもりの支援」～問題の理解とＣＲＡＦＴの紹介～
講師：もりさわメンタルクリニック　院長　森澤　巌氏
・近年、不登校・ひきこもりの児が増加傾向にあり、保護者・支援者の方を対象に関わり方等について講演を行った。
・定員４０名を大幅に超える方が参加され、このテーマに関する関心の高さがうかがえた。来年も講演会の開催を希望される意見が多数出た。

○第３回　令和６年７月２９日（月）１０：００～１２：００
「きょうだい児のイベント」※東温市ピアサポート推進事業とのコラボ企画
講師：認定 NPO 法人ラ・ファミリエ　理事　西　朋子氏・越智　彩帆氏
・保護者向けに、西氏が病気や障がいのある児の兄弟姉妹である「きょうだい児」について講演後、班に分かれワークショップを行った。また越智氏がきょうだい児向けに「同じ立場の子どもどうしで遊ぼう、話しよう、仲間を作ろう」をテーマにワークショップを行った。
・きょうだい児支援の重要性、地域で定期的にきょうだい児が集まり思いを打ち明けることのできる場所等が必要であると学んだ。
・きょうだい児より「全部楽しかった」、保護者・支援者からは保護者どうしで話せてよかった、また来年も開催してほしい等という意見が出た。

○第４回　令和６年９月２５日（水）１０：３０～１２：００（開催予定）
講演会「防災について～大洲市の NPO 法人歩の取り組みについて」
講師：NPO 法人歩　理事長　白石　美月氏

○第５回　令和６年１１月２９日（金）９：３０～１１：３０（開催予定）
講義「障害年金の書類の書き方について」
講師：NPO 法人社会保険労務士事務所ひなそよ
代表社会保険労務士　鈴木　正幸氏

部会

○第２回　令和６年７月１１日（木）１０：００～１１：３０
事例検討会「担当ケースを例とした保護者の就労継続支援について」
事例提供者　日本訪問看護財団　松山相談支援センター
相談支援専門員　西村　幸氏

・市内在住の３歳児。医療的ケア児（人工呼吸器、気管切開、吸引、ネブライザー、経管栄養、排便管理）で知的に問題なく発達は標準。重度心身障害児にはあたらない。将来的には一般の学校に通える見込みで、本来は健常児と同じ園で発達を促していけたら一番いいが、市内に医療的ケア児を受け入れてもらうことのできる園がないのが現状である。
・対象児の両親は就労しており、現在は、週１日は父親が仕事を休んで本児をみて、週４日はすべて違う児童発達支援事業所に通っている。
・今回、事例検討会で、発達・知的に問題なく重度心身障害児ではない児の保護者が本市で離職することなく、安心して子育てができるよう、本市内で医療的ケア児を受け入れてくれる園の体制を整えるために予算化してもらえたらという意見があった。
・他にも困られているケースがある。
・医療的ケア児について、必要に応じ個別の検討会が可能である事がわかった。

○第６回　令和７年３月１３日（木）９：３０～１０：３０（開催予定）
「今年度の活動報告・来年度の活動について」

＜子ども部会から提案・全体会に助言を求めたいこと等＞
・松山市では一部の園で医療的ケアが必要な子どもを受け入れる体制を整えている。また松山市が委託した訪問看護ステーションの看護師が園を訪問し、医師の指示に基づいて、所定の時間内に医療的ケアを行っている。現時点で、市内の園に入園できず困っているご家庭が３件あり、医療的ケア児の早期受け入れについての体制作りや予算化について検討して欲しい。

成人部会

障がい者の生活、就労支援等に関することについて協議する部会

＜令和６年度の方針＞

・事業所見学の年間スケジュールの更新・利用の検討、市内の障がい者に必要な課題を部会員から抽出し検討する。

〇開催（予定）日

第１回　令和６年８月２３日（金）１０：００～（開催予定）
第２回　令和６年　小部会開催以降に予定

★小部会（就労部会・暮らしを支える部会）について
令和６年度　１回開催予定
（部会員は市内の就労継続支援事業所 A 型、B 型、訪問介護事業所の管理者や責任者の方に向けた勉強会と意見交換会。）

＜協議内容＞

〇令和５年度

第３回　令和６年　２月２８日（水）９時３０分～１１時１０分
東温市総合保健福祉センター　３階大会議室
協議題　①東温市障がい者就労支援事業所のガイドブックについて
・令和６年度年明けの発行予定で部会員内で加筆修正を実施した。
②事例検討
・児童から成人へ変わる利用者について事例提供があった。
・放課後等デイサービスと生活介護の利用時間の違いから、長時間利用できたり、１８時以降も利用できる生活介護があればよいのではないかとの意見があった。
③意見交換
・サービス提供事業所同士で意見交換ができる機会が欲しいとの意見あった。

〇令和６年度

第１回　東温市総合保健センター　３階大会議室（開催予定）
協議題　①自己紹介
②令和５年度成人部会報告
③今期の部会活動について
④その他

第１回　小部会（就労部会・暮らしを支える部会）（開催予定）
協議題　①令和５年度の成人部会報告
②事業所見学の年間スケジュールの更新・利用の検討
③サービス管理責任者に向けた勉強会
④その他

＜成人部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等＞

・市内の短期入所と居宅介護の社会資源が少ない。
・利用時間の延長可能な生活介護があればよいのではないか。

相談支援部会

相談支援専門員の育成及び資質の向上、相談支援体制や地域におけるネットワークの構築に関することについて協議する部会

＜令和６年度の方針＞

・障害福祉サービス等報酬改正内容について勉強会を開催し、サービスの適正化や体制整備、相談支援専門員のスキルアップを図る。
・特別支援学校や介護保険のケアマネジャー、サービス管理責任者など各所とのより良い連携を図るための交流会や勉強会を開催し、見えてきた課題を共有し、地域の課題とともに今後の部会の動きについて考える。

〇開催日

第１回 令和６年４月２３日（火）９：３０～１１：００

『令和６年度障害福祉サービス等報酬改定の勉強会』

この４月に障害福祉サービス等報酬改定がなされたことから、令和６年度の改正内容の共有を行い、東温市における相談支援体制の整備・充実、相談支援専門員のスキルアップを図るための場となるよう講師を招き相談支援専門部会での勉強会を行った。

第２回 令和６年６月１２日（水）９：３０～１１：００

『教育と障がい福祉との連携について』

今後の連携がより円滑なものになるよう、支援学校との連携を考えていくために、これまでの支援学校とのかかわりの中で、助かったことや、困ったエピソードなどを自由に語り情報の共有を行った。その結果、特別支援学校の卒業後への進路決定について、実習や就職に向けての動きの情報が少なく、どのように関わったらいいのかわかりづらい、特別支援学校と相談支援専門員とのコミュニケーションがもっと必要ではないかとの意見があった。今後は相談支援部会から実習の仕組みと考え方を相談支援専門員が知りたがっていることを進路担当の先生に相談し、学校側の流れにどういう風に相談支援専門員が関わって欲しいかというところも確認していくこととなった。

第３回 令和６年８月２０日 （火）９：３０～１１：００

『ケアマネジャーとの連携についての打合せ』

これまでのケアマネジャーとのかかわりの中でうまくいったことや、うまくいかなかったエピソードを共有した。昨年度市内のケアマネジャー宛に行ったアンケートの集計結果から、困っていることや知りたいと思っていることについて確認を行った。本年度、１０月と１２月に予定している『ケアマネジャーとの連携』の持ち方をどのように行うか検討を行った。

また、相談支援専門員としての活動を通じ、現状の東温市に感じている課題を、近く開催される地域自立支援協議会（全体会）に相談支援部会として提出することとなった。

第４回 令和６年１０月３０日（水）９：３０～１１：００（開催予定）
『サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者との相談支援専門員との連携』

第５回 令和６年１２月２７日（火）９：３０～１１：００（開催予定）
『ケアマネジャーと相談支援専門員との連携』

第６回 令和６年２月２１日 （金）９：３０～１１：００（開催予定）
『令和６年度の活動で各所との連携をしてみて、見えてきた課題や今後の部会の動きについて考える。』

＜相談支援部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等＞

① 東温市内に相談支援事業所が少なく、相談支援専門員としての担い手の不足が深刻である。入所施設を有する医療機関、また市内の社会福祉法人等に相談支援事業所設置について、行政とも協力しながら呼びかけを行っていく必要があると思うが、何か他に方法があれば助言をいただきたい。
② 支給決定を得ても『居宅介護』や『短期入所』については、現状では、資源が乏しく実際に利用できる事業所を見つけることに苦慮している。今後、様々なサービス不足も考えられるが、この状況に対しての対応策を各事業所の方にも一緒に考えてほしい。
③ 短期入所については、『共生型』として受け入れる事業所が全国的に増えてきている。東温市内の介護保険事業所において、「共生型」としての利用受け入れに取り組んでもらうためにどういう働きかけをしていけばいいか。
④ 市との協議の際に、課によって担当部分が違い、連携がとりにくいと感じることがある。教育と障がい福祉や介護保険と障がい福祉など、市役所の各課の中で、制度の勉強会をするなど、連携についての課題について取り組む機会を作ってほしい。
⑤ 数年前からお願いしている福祉避難所への直接避難の実施についての対応が、未整備の状態だと思われる。８月９日、日向灘を震源とする地震を受け、気象庁が初めてとなる南海トラフ地震臨時情報の「巨大地震注意」を発表し、今後に不安を抱える保護者・利用者もいるので、関係機関が連携を取りながら整備を進めてほしい。
⑥ 知的障害を伴わない医療的ケア児において、通常の保育園や幼稚園での受け入れを希望する相談が複数寄せられており、保育幼稚園課に協議と対応をお願いしているところである。医療的ケア児については、要望があっても利用できる社会資源が少なく、また様々な情報の不足もあり、災害時の避難などにおいても課題が多い。今後、ケース的に増加している医療的ケア児への対応が必要と思われるが、東温市が取り組むための提案を一緒に考えていただきたい。